

議員提出議案第6号

待機児童の速やかな解消に向けた施策の推進を求める決議

仕事と子育ての両立の大きな壁となっている待機児童問題は、急速に進展する少子化や深刻な雇用情勢といった構造的な社会問題と密接に関連する課題として、早急な対策が求められている。

さいたま市においても、待機児童対策として、これまでも認可保育所の整備やナースリールーム・家庭保育室の活用、幼稚園における預かり保育事業の拡充などにより推進してきたが、今なお多くの待機児童が存在する状況にある。

このような状況のもと、先般、市の対応に不満をもつ待機児童の保護者から行政不服審査法に基づく不服の申立てがなされ、市として、喫緊に抜本的な待機児童対策を講じることが迫られているところである。

よって、さいたま市議会は、待機児童の解消に向けた強力かつ効果的な施策をスピード感をもって展開することにより、保育の質と量の向上・充実を確実に推進するよう求めるものである。

以上、決議する。

平成25年4月24日提出

提出者	さいたま市議会議員	新 藤 信 夫
	同	稲 川 晴 彦
	同	江 原 大 輔
賛成者	さいたま市議会議員	土 橋 貞 夫
	同	加 藤 得 二
	同	青 羽 健 仁
	同	福 島 正 道
	同	武 笠 光 明
	同	鶴 崎 敏 康
	同	関 根 信 明
	同	中 山 欽 哉
	同	野 口 吉 明
	同	中 島 隆 一

同	井	上	洋	平
同	霜	田	紀	子
同	帆	足	和	之
同	渋	谷	佳	孝
同	島	崎		豊